

1～4月は7%増の1.2億TEU

■中国港湾、上位港は増加

中国交通運輸部が公表した、中国港湾の1～4月累計のコンテナ取扱量は、前年同期比7.2%増の1億2035万TEUとなった。沿海港が7.4%増の1億608万TEU、内陸河川港は6.1%増の1426万TEUとなった。上海港や寧波舟山港、深圳港や青島港などの上位港をはじめ、軒並みプラ

スで推移している。

各港の取扱量をみると、上海港が7.0%増の1896万TEU、寧波舟山港が12.4%増の1525万TEU、深圳港が7.2%増の1216万TEU、青島港が8.1%増の1153万TEU、広州港が3.2%増の913万TEU、天津港が8.8%増の840万TEUだった。

その他の港湾は、廈門港が0.7%減の389万TEU、蘇州港が4.1%増の342万TEU、北部湾港が1.1%増の303万TEU、日照港が6.5%増の264万TEU、連雲港が0.2%増の230万TEU、煙台港が9.8%増の204万TEU、營口港が8.1%増の199万TEU、大連港が2.7%増の179万TEUだった。コスコがハブとして開発している洋浦港は73.3%増の130万TEUと大きく増加している。